

第6講座 古文

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

昔、男ありけり。身はいやしなから、母なむ宮なりける。その母、長岡といふ所に住み給ひけり。子は京に宮仕へしければ、詣つとしけれどしばしばえ詣でず。ひとつ子にさへありければ、いとかなしうし給ひけり。さるに、師走ばかりに、「とみの事」とて御文あり。驚きて見れば、歌あり。

老いぬればさらぬ別れのありといへばいよいよ見まくほしき君かな
かの子、いたううち泣きて詠める。

世の中にさらぬ別れの無くもがな千代もと祈る人の子のため

(『伊勢物語』)

- *1 身はいやしなから || 官位は低い身であったが。
- *2 宮 || 皇族。
- *3 かなしう || かわいがって。
- *4 とみの事 || 急な用事。
- *5 さらぬ || 避けられない。
- *6 見まくほしき || 会いたいと思う。
- *7 無くもがな || 無ければいいのに。

問一 —— 線①「御文あり」とありますが、だからだれへの手紙ですか。最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 男から作者へ
- イ 男から母へ
- ウ 作者から男へ
- エ 母から男へ

問二 「老いぬれば……」の歌に込められている気持ちとして最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 新年を迎えたとまた一つ年齢が増え、死という避けられない別れが近づくので、いっそう早く会いたいという気持ち
- イ 年の瀬もせまり、あわただしさの中で、しきりと子どもの暮らし向きが気になり始め、なんとかしたいという気持ち
- ウ 千代の別れのあいさつは年内にすませて、正月にはゆつくり過ごしたいので、その準備を急がせたいという気持ち
- エ 新年を迎えたと自分は遠くに移り住む予定があるので、早いうちに手紙を送り、別れを告げておきたいという気持ち

問三 —— 線②「千代も」のあとに省略されていると考えられる言葉として最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 親は時を大切にしてほしい
- イ 親は愛を保ち続けてほしい
- ウ 親は長く生きてほしい
- エ 親は夢にも出てきてほしい

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

あるところに、女房あまたあるて箏ひくに、琴柱のはしり失せたるを、さるべき男もなければ、宿直人の見ゆるを呼びて、この前裁の中に、楓の木二俣にこれほど、しかじか切りて来とこまやかに教へてやりつ。「は

かばかしきことあらじ」といふほどに、切りてもて来たり。簾のもとに寄りて、「このかり琴柱*9参らせ候はん」といひ出でたるに、思はずにあさましくて、「こまごまと教へつる、いかにをこがましく思ひつらん」と、恥ぢあへりけり。
(『十訓抄』)

- *1 女房に宮中などに仕え、一室をあた与えられて住んでいた女官。
- *2 箏に十三弦の琴。
- *3 琴柱に琴の胴の上に立てて、弦を支える道具。
- *4 さるべき男に適当な男。
- *5 宿直人に宮中や役所に宿泊して勤務・警戒する人。
- *6 前栽に草花・庭木を植えた庭。植え込み。
- *7 はかばかしきことあらじに (琴のことなど知らないだらうから) たいした期待も持てまい。
- *8 簾にすだれ。
- *9 参らせ候はんにさしあげましょう。

- 問一 文中で、会話を示す「」（カギ）をつけるとわかりやすくなるところが、一か所あります。その初めと終わりの三字を書き抜きなさい。
- 問二 線①「切りてもて来たり」の動作主を文中から書き抜きなさい。
- 問三 線②「あさましくて」の現代語訳として最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。
- ア とても驚いて
 - イ 少し困って
 - ウ 大変苦勞して
 - エ 大声で怒って

問四 線③「恥ぢあへりけり」について説明した次の文の□ a .

b にあてはまる言葉を、a は4行目の「簾のもとに」以降の文中から十字以内で書き抜き、b は最も適当なものをあとから選び、記号で答えなさい。

「恥ぢあへりけり」は、「(女房たちが)お互いに顔を見合わせて恥づかしがった」という意味であるが、その理由は、自分たちの「a」行為が□ b だったと感じたからである。

- ア 恥の上塗り
- イ 怪我が功名
- ウ 釈迦に説法
- エ 元の木阿弥

b	a
□	□
□	□
□	□
□	□
□	□
□	□
□	□

三字・四字熟語

(1) 次の () に「不・無・非・未」のうちのどれかを入れて、三字熟語を完成させなさい。

- ① () (公式) () (理解)
- ② () (解決) () (満足)

(2) 次の () にあとの熟語のうちのどれかを入れて、四字熟語を完成させなさい。

- ① 空前 () ② 言語 () ③ 質疑 ()
- ④ 創意 () ⑤ 大同 () ⑥ 不言 ()

- 工夫 道断 絶後 小異 応答 実行

練習問題

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

冬の寒くなるままに、^{*1}さもえすまじければ、この子わが親に^{*2}何を参らせむ。いかにせむと思ひて、母にいふやう「魚を取りにいきたれど、氷いと固くて、魚もなし。御許、^{*2}いかがし給はむずるぞ」といひて、泣くときに、おや「^{*3}なにか悲しき。^{*4}な泣きそ。氷解けなむとときにとれかし。

^{*4}われ物多く食ひつ」といへど、なほ、明くれば、河原にいきて、人おほく、車などある時は、そのほど過ぐして、出でて見るに、水、鏡のごとくこほれり。^{*5}そのかみ、この子のいふやう、「まことに、われ□□の子ならば、氷とけて魚出で来。□□の子ならば、な出で来ぞ」とて、泣く時に、氷解けて大いなる魚出て来たり。取りて行きて、母にいふやう「われはまことの□□の子なりけり」と語る。

(『宇津保物語』)

*1さもえすまじければ□□のように、魚を釣つて、母親を養うことができそうもないので。「さ」は指示語。これより前に、仲忠が幼児のころ、魚を釣つて、母親を養っていたことが述べられているのを指している。

*2何を参らせむ□□何をさしあげたらよいだろうか。

*3いかがし給はむずるぞ□□どのようになさるおつもりですか。

*4な泣きそ□□泣くな。「な……そ」で禁止の意味を表す。

*5そのかみ□□そのとき。

問一 — 線①「思ひて」とありますが、子供が思ったことが書かれて

いるのはどこからどこまでですか。その部分の初めと終わりの四字を文中から書き抜きなさい。

問二 — 線②「御許」は「あなた」という意味ですが、ここではだれを指していますか。文中から書き抜きなさい。

□□

問三 — 線③「なにか悲しき」の意味として最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 悲しくてどうしようもないよ
- イ なんて悲しいことがあるのか
- ウ 悲しいので泣いているのです
- エ あなたが泣くので悲しいのです

問四 — 線④「われ物多く食ひつ」と母が言ったのはなぜですか。最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア わが子の行為をたいへんうらんだから。
- イ わが子に心配をかけまいと思ったから。
- ウ わが子をおおいに褒めたかったから。
- エ わが子の行為をたいへん悲しんだから。

問五 □□に共通してあてはまる言葉として最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 忠
- イ 信
- ウ 孝
- エ 仁

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

*1 博雅三位、月のあかりける夜、直衣にて、朱雀門の前に遊びて、夜もすがら笛を吹かれけるに、同じ様に直衣着たる人の笛吹きければ、誰人ならむと思ふほどに、その笛の音、この世にたぐひなくめでたく聞こえければ、あやしくて、近よりて見ければ、いまだ見ぬ人なりけり。われもものいはず、かれも言ふことなし。かくのごとく、月の夜ごとに行きあひて、吹くこと夜ごろになりぬ。かの人の笛の音、ことにめでたかりければ、試みにかれを取りかへて吹きけるに、世になきほどの笛なり。その後、なほなほ、月のころになれば、行きあひて吹きけれど、本の笛をかへし取らむともいはざりければ、長くかへて止みにけり。

(『十訓抄』)

- *1 博雅三位 源博雅。醍醐天皇の孫。従三位。管弦の名人と言われた。
- *2 直衣 高貴な人の平常服。
- *3 朱雀門 平安京の大内裏の南面の正門。朱雀大路から宮城に入る入り口。
- *4 たぐひなく 比べるものがないくらい。
- *5 夜ごろになりぬ 幾夜も続いた。
- *6 かへし取らむ 返してもらおう。

問一 線①「月のあかりける」の「の」と同じ意味・用法のものを次のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 朱雀門の前に遊びて
- イ 直衣着たる人の笛吹きければ
- ウ 月の夜ごとに行きあひて

問二 線②「夜もすがら」の意味として最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 宵のころ
- イ 夜の明けるころ
- ウ 夜どおし
- エ 月の出ないとき

問三 線③・④の「ほど」の用法として最も適当なものを次のうちから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 程度を示す
- イ 広さを示す
- ウ 距離を示す
- エ 時間を示す

問四 線④「めでたく」の意味として最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア すばらしく
- イ かわいらしく
- ウ なめらかに
- エ こわくなるくらいに

問五 線⑤「あやしくて」の意味として最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 信用できないので
- イ 疑わしくて
- ウ 困って
- エ 不思議に思っ

問六 線⑥・⑦の「かれ」はそれぞれだれ(何)を指していますか。現代語で答えなさい。

- ⑥
- ⑦

問七 線⑨「長くかへて止みにけり」の現代語訳として最も適当なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 笛を返してくれと言われてから長い年月が経過した
- イ 長い間、笛を返してくれと言わないうでいた
- ウ 笛を取りかえてから年月が経過し、困ってしまった
- エ 長い間笛を取りかえたままになってしまった